

平和への想い　く広島・沖縄の戦争を通じて　（中学生交歓交流事業報告）

問い合わせ 生涯学習課 ☎5800

市内の中学生14人が、8月12日から3泊4日で沖縄県を訪問しました。この事業は、沖縄県豊見城市と本市が隔年で交互に中学生を派遣し、平和学習や体験学習を通して、平和への思いを持ち、また広い視野と友情を深めることを目的としています。

昨年度の研修

豊見城市の団員を迎え、広島島の歴史や文化、原爆による犠牲について学びました。

被爆体験講話



しゃもじ作り体験

本年度の研修 事前研修（7月～8月全3回）

交歓交流の目的を確認し、平和について考えました。また、沖縄での役割分担を決めました。事前研修を通じて団員の親睦が深まりました。



千羽鶴作成

本研修（8月12～15日）

沖縄の歴史や文化、沖縄戦による犠牲について自分の目と耳で学びました。また、一年ぶりに再会した仲間とこの夏一番の思い出を作りました。



ウージ染め体験



美ら海水族館見学



ひろしまの塔参拝



海水浴

報告会 10月21日

研修で学んだことや感じたことを報告しました。

「私は、今年行った沖縄県と広島県は似ているところが多いと感じました。その中でも、戦争で歴史に残るような大きな被害を受けたことは、特に大きな共通点だと思います。そして、その出来事を次の世代に伝えていこうとしているのも同じです。」

「この2年間で聞いた戦争体験講話などで戦争がいかに恐ろしいかを知ることができました。また、お話をされた方は皆、最後には『次は、今この話を聞いているあなた達が戦争のことを伝える番だ』と言っていました。私は、講話をしてくれた人達のように、戦争の話を伝えていきたいと思いました。」

「（戦争体験講話を聞いて）『生きていることが当たり前じゃない。平和じゃないと生かれない。』という言葉がすごく印象的でした。」

次の募集は
来年5月予定
対象
中学1、2年生
（来年度）

あなたも最高の夏と
最高の仲間をつくりませんか

